



写真4 南方から見た蓼科山. (福島-福岡, 2月)

蓼科山(中央上)が整った形をしているのに対し、その右下の(北)横岳(2,480m)は新しそうな、でこぼこした厚い溶岩流地形からなります。この(北)横岳がハヶ岳の連山で唯一の活火山です。左端上に白樺湖が見えます。



写真5 南方から見たハヶ岳南部. (成田-仁川, 12月)

中央が阿弥陀岳(2,805m), その右に中岳を挟んで赤岳, さらに北方に横岳(2,829m), 硫黄岳(2,760m)が連なります。それらに囲まれた低い部分に, かつての噴出中心があったという説もあります。

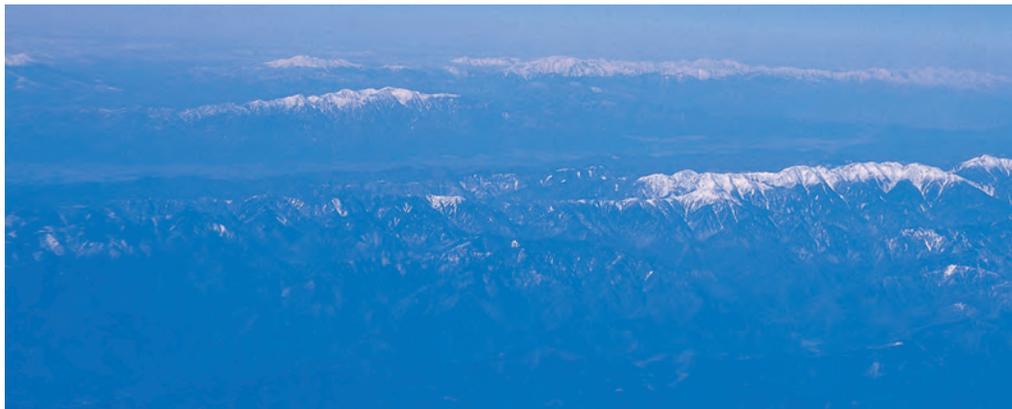


写真6 南東方から見た南アルプス南部(中央右), 中央アルプス(左上)と北アルプス(その奥, 中央から右). (長崎-羽田, 1月)

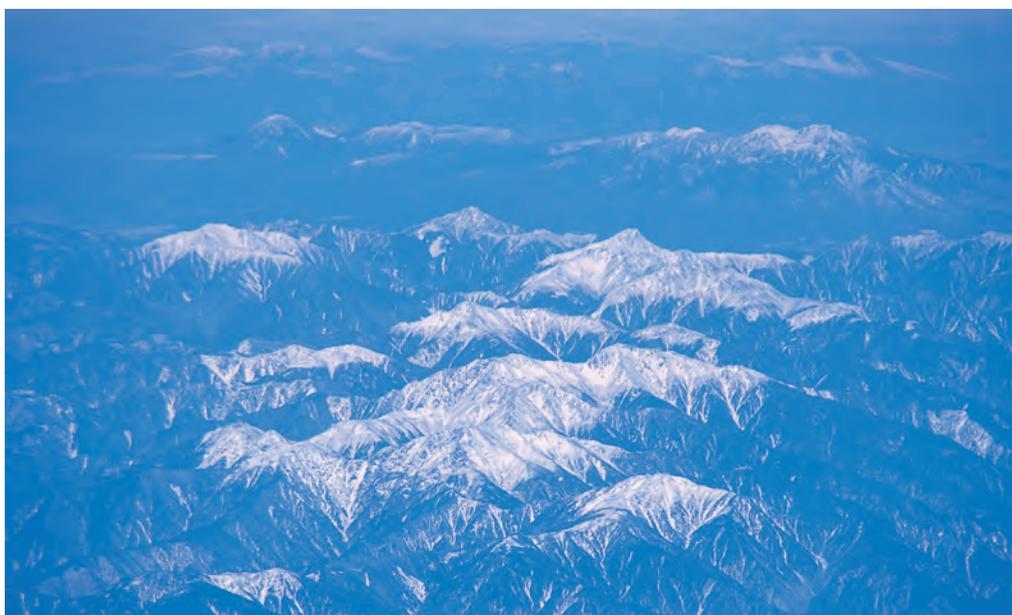


写真7 南方から見た南アルプス. (長崎-羽田, 1月)
3,000mを越える山並みがほぼ全部見えています. その上は八ヶ岳の連山, 右上端は浅間山です.

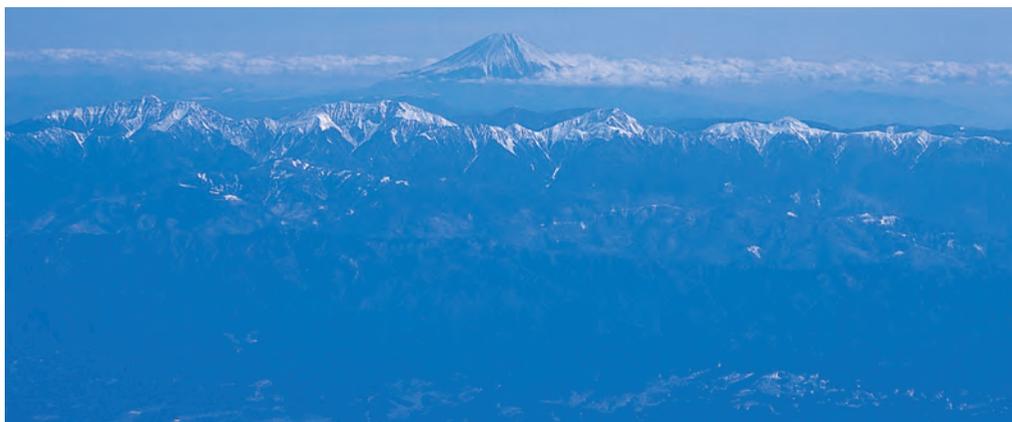


写真8 西方から見た南アルプス南部. (伊丹-松本, 2月)
左から荒川岳(3,141m), 赤石岳(3,120.1m), 聖岳(3,013m), 上河内岳(2,803.0m).

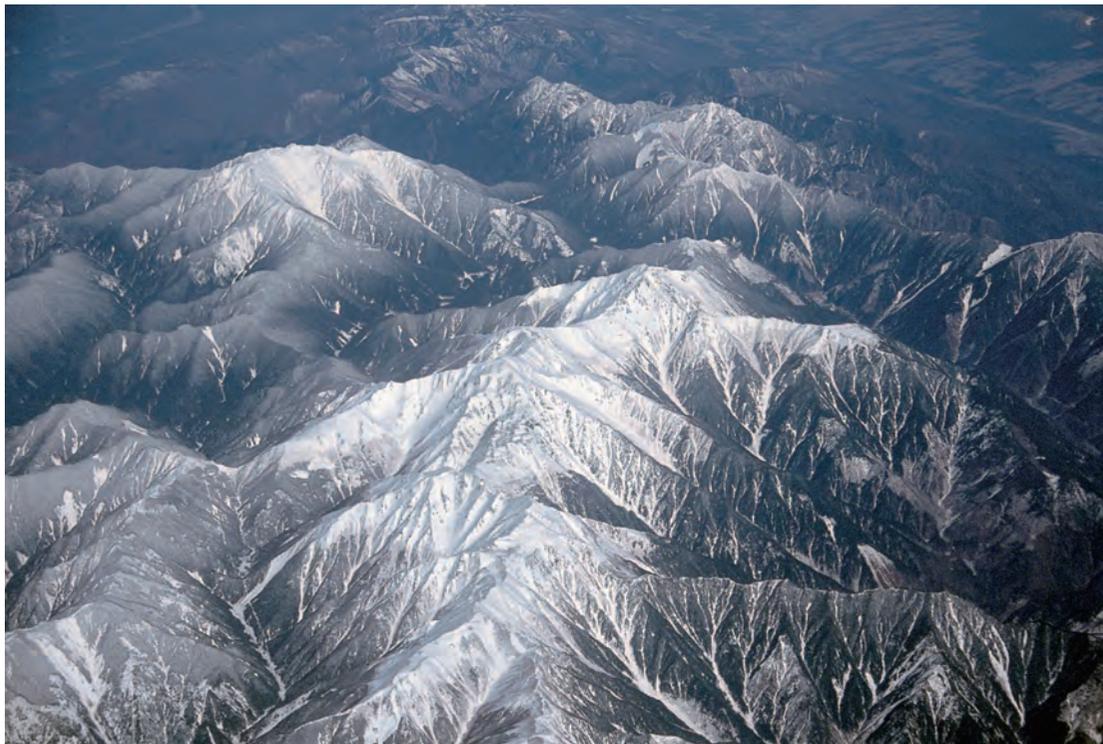


写真9 南方から見た南アルプス北部。(羽田-福岡, 2月)
中央の白い峰は、上から北岳(3,192.4m)、間ノ岳(3,189.3m)、農鳥岳(3,025.9)の白根三山です。その左上が仙丈ヶ岳、右上が駒ヶ岳です。駒ヶ岳だけが新生代中新世の深成岩で、ほかは中生代の地層です。

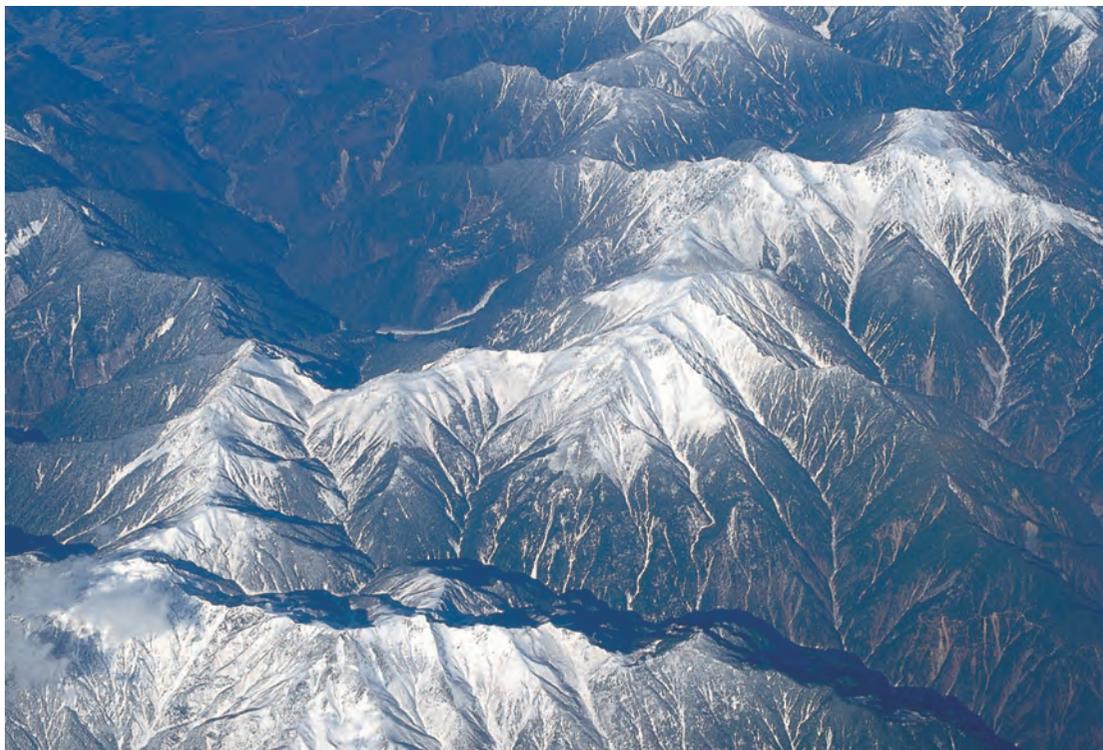


写真10 南方から見た聖岳(中央下)、赤石岳(中央)、荒川岳(右上)。(羽田-長崎, 1月)
山体の大部分は中生代白亜紀の砂岩・頁岩からなり、一部玄武岩溶岩やチャートを挟みます。